

## シマヘビの抜け殻の標本の作り方

七つ森案内人；伊藤裕一

春から夏にかけて、草刈りした田んぼなどに『ヘビの抜け殻』をよく見かけます。

以前は、そのまま画用紙に貼り付けて掲示していましたが、子どもたちは触りたがるので直に壊れてしまっていました。特に、『目にも鱗』があることを見せたかったのですが…。目の上にテープを貼ると、鱗が分かりにくくなりますし、困っていました。

最近ラミネートが普及し便利になりましたが、厚さがあってラミネーターを通すことはできませんでした。しかし、ある時アイロンでできることを知りました。所々に気泡などが入るものの、『ヘビの抜け殻』の標本ができるようになりました。

ところで、ヘビは口から脱皮するよう  
で、きれいに裏返しに抜けた殻もあれば、  
ぐちゃぐちゃにたごまってしまった抜け  
殻もあります（第 1 図）。ここでは、そ  
のたごまってしまった抜け殻の標本の仕  
方を紹介していきたいと思います。



たごまっている抜け殻でしたら、その  
部分だけを水に濡らします。長時間は浸  
さないでください（第 2 図）。柔らかく  
なりすぎて千切れてしまいます。

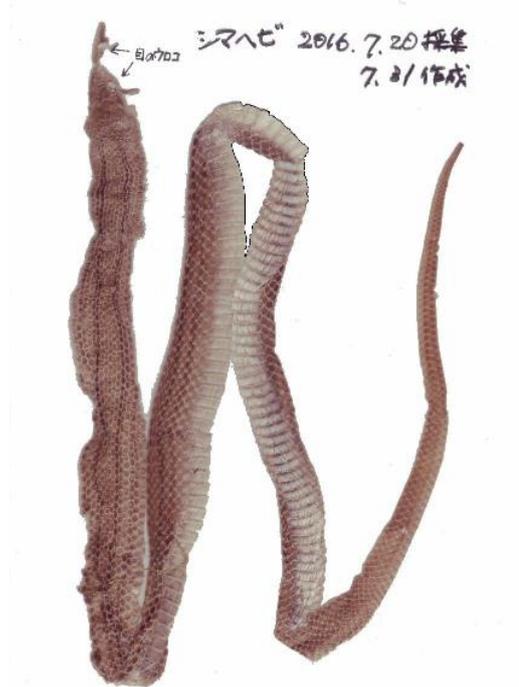
濡らしては、伸ばす。濡らしては、伸ばす。これを繰り返して、根気よく引き延ばして  
下さい。ヘビの形になってきたら、成功です（第 3 図）。



そして、乾燥させます。この時、観察しやすいように形を整えておくといいでしょう。  
ラミネートフィルムの大きさに合わせて、つまりA3やA4の大きさに合わせて成型しま  
す。

完全に乾燥させたら、ラミネートフィルムに挟んでアイロン台に乗せ、手ぬぐいなどの布をかぶせ、その上からアイロンでラミネートします。熱いですが、柔らかいうちに分厚い雑誌などに挟んで、できるだけ平らにしてください（第4図）。

冷えたら、採集日や採集場所などを記入しておきましょう。



#### 目の鱗（第5図）

目に鱗があるなんて！本当に、目から鱗でした。



#### どこから尻尾？（第6図）

肛門から下が尻尾です。

お腹の鱗は1枚ですが、尻尾の裏側の鱗は2枚です。

